

討論

賛成 平塚クラブ

平塚クラブを代表し、平成十八年度平塚市一般会計予算について、討論を行います。

景気は底を打ったと言われており、大企業を中心に向上傾向にあります。

しかし中小企業や商工業者においては、景気回復は実感できていません。平成十七年度から行っている「ひらつか改革プラン」は、九六項目からなる実施計画に取り組みと共に、重点項目として「職員一〇〇人の削減」「現業職員の採用ゼロ」が掲げられていますが、職員の年齢構成等将来的に歪みが生じないように十分な検証の実施を求めます。

また、十八年度は第三次実施計画の最終年度であり、また大蔵市政四年目の仕上げの年でもあり、市民の目線と意見等を広く聞き、常に政策は市民との協働、整合性を十分かつ、きめ細かくすることを強く求めておきます。

次に新年度予算についてですが、まず平塚の産業についてです。産業の活性化は地域経済の重要な柱の一つと言われている

です。本市は豊かな風土と共に活発な経済活動が萌芽する産業資源に恵まれていることから、さまざまな産業が存在します。各産業に携わる市民の、現場の声を良く聞き、各分野で将来に夢の持てる方針を示すべきである。

一方、市職員の研修についてですが、「一人は財産」であり、将来に悔いを残さないよう、積極的な人への投資を行い、研修テーマである「政策立案能力や法務能力向上」につながるよう強く要望します。

現状は歳入が減る中、扶助費の削減・抑制は重要な課題です。団塊の世代の大量退職を迎える今、健康年齢の引き上げは緊急の課題であります。最近の医療は予防型に転換しつつあり、健康なお年寄りを増やすことは、重要課題と考えます。具体的には定期健康診断の充実で早期発見、早期治療はもとより、病気の因子を発見し病気にならない対策を打つ、攻めの医療の推進や、高齢者を含めたヘルスプロモーションの推進、食育の充実や食生活の改善指導、スポーツの奨励等が挙げられます。庁内関係部署が連携し積極的な取り組みを強く求めます。

市政や予算執行については市民一人ひとりの生

議案第 29 号 平成 18 年度平塚市一般会計予算

活と福祉向上に見合う「効率的・効果的な市政運営」が行われることを切望し、また会派内で激論を交わし苦渋の選択の結果、以上申し述べた意見・要望を付して賛成討論と致します。

反対 平塚なでしこ 21 議員団

十八年度予算は、協働のパートナーでもある市内各種団体への補助事業が査定も行わず、事前の通告もなく、一方的にカットされております。市長の言う協働の取り組みとは、行政の都合の良い時には、声高らかに協働を叫び、行政の都合の悪い時には、一切触れずにより過ぎます。これが市民との協働なのでしょうか？

せめて予算が採決される前に説明するのが協働のパートナーシップと考えます。市内四三校、約二万人が毎日通学する小・中学校の施設がまだまだに耐震補強どころか耐震診断もされず数多く放置されています。危険な施設が多数存在している状態で「安心安全に暮らせる予算」とは言えません。早急な安全対策を要望いたします。また、西部福祉会館の予算が見当たりません。予算ゼロの理由が議会にも市民にも伝え

られていません。また、市民で構成されている建設促進委員会にも設計予算が計上されていない事実さえ伝えていないのです。市長の言う市民との協働、まちづくりへの参加参加の取り組みがこれが実態です。早急な軌道修正が必要です。将来の厳しい財政見通しが明らかになったにもかかわらず、平塚市がどのように生き残りを図っていくのか、具体的な取り組みが全く示されておられません。目標を掲げて財政健全化・産業活性化の推進を図り、歳入を拡大するための方策や戦略的な取り組みが必要で、各事業計画の優先順位の決定どころか道筋さえも見えてこない現在の予算案では、市民との協働の成果は期待できなものと判断いたします。私たちは、過去当初予算は、これまで一度も反対したことはありません。しかしながら、本当にこれで良いのか、真実は何なのか、明確にすべきとの断腸の思いで本予算に反対いたします。

賛成

公明党平塚市議員団

障害児タイムケア事業や民間保育の施設整備事業・認定保育施設の拡充を図るなど、細やかな施策の実施に配慮を欠いていないことを評価して賛成します。一方、予算編成に当たって課題を指摘します。①財政健全化に向けての切り込みが十分でなかったか疑問に感じること。②枠配分方式の成果を共有できないこと。③協働で仕事をしながら予算を付けることができなかった事業について、心配りがなかつたこと。④新庁舎建設問題への取り組み方です。まず、対応の仕方に、基本手順に間違いがあったこと。その結果、市長が総務経済常任委員会に出席して、予算執行について議会や市民の意見を尊重すると弁明せざるを得ませんでした。私たちは、市役所周辺と見附町の公有地の土地利用のマトロク的な検討がなされていない、厳しい財政事情の中で、多額の費用を要する課題が山積しており、今後の資金計画が不透明であり、建設着手に安易に同意することはありません。したがって、新庁舎関係経費の扱いについて、議会の理解を得ながら慎重な執行を求めます。

賛成

日本共産党 平塚市議会議員団

保育園の待機児解消や学童クラブ増設への助成

などは、市民の声に応えるものだ。市民との協働の自治基本条例提案は評価する。市民生活はさまざまな負担増で一層深刻。特に高齢者や、収入が少ない人ほど痛手だ。国保税や介護保険料が上がる。その上高齢者のふれあいパスカードや基本健康診査も自己負担が、二〇〇〇円に上がる。このような値上げはすべきではない。

請願の審査概要

三月定例会では三件のをさらに調査する必要があると判断された。本請願は継続審査したいという意見があった。また、本請願は、公共工事に限る請願では、医療制度の改定は、高齢者を病院から遠ざける施策であり、市長会の要望内容も含まれていないので不採択としない状況が認められていたという意見もあった。

本請願は採択したいとの金が変わらず、建設労働者全体の賃金を低くして正内容には、請願に例示している。まず公共工事の賃金から適正に支払われるべきとの動きが全国的に例え、入院医療費の受高まっております。適正な労働委託採制度の内容も含まれていない。医療制度改訂の内容が確実に盛り込まれていない。望みで、本請願は採択したいという意見があった。採決した結果、不採択としないという意見もあつた。本会議でも不採択と決定した。採決した結果、不採択とした。

公共工事における建設労働者の適正な労働条件等の確保にむけて国への意見書提出を求める請願 数が、一五年間で六倍はなつたといえ、その効どのにたつていの中で、年果はまだ平塚市民に波及三〇%近い高金利の貸ししていない。仕事も多く金業者の高金利貸しを早急ない状況の中で、最低のにやめさせるためにも本生活水準を満たすために 請願を採択したいという本業以外にも仕事をしたい意見があつた。採決した人が多数いる。適正な賃金結果、採決すべきものと金を支払うことは良いことなり、本会議でも採択とどだと思つたが、その状況 決定した。

賛成

神奈川ネット ワーク運動

納得性の高い税の使い道を求める意見要望する。

・ごみ処理広域化に伴う施設整備は慎重を期し、経過を市民に知らせる。

・一般会計繰出金四五億円、借金残額七二〇億円、下水道事業の再検討を。

・公的助成のある認可とない認可外の保育園。利用者間の不平等対策を。

・特別支援教育の実施一教員研修や相談体制の充実、支援シートの活用を。

・市民にわかりやすい予算書づくりを。

市議会ホームページのご利用を

- 市議会のホームページでは、議会のしくみ・概要・日程、議員の構成、質問を行う議員や質問項目等の「発言通告一覧」、議会に提案された「議案等の一覧」などについて紹介しています。
 - 会議録検索システム…平成 9 年 5 月以降の本会議と臨時会会議録および平成 17 年 3 月以降の各常任委員会と平成 17 年 2 月以降の議会運営委員会の会議録を掲載しています。
- ☆市議会ホームページアドレス
http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/gikai/
(平塚市ホームページからも接続できます)

請願・陳情のてびき

市政について、意見や要望がある時はだれでも議会に請願や陳情を出すことができます。請願には議員の紹介が必要ですが、陳情には必要ありません。

〈請願・陳情の提出方法〉
請願および陳情の提出には、提出日、住所、氏名(団体名・役職名)、押印およびあて先(平塚市議会議長〇〇〇〇)の記載が必要です。

請願の提出締め切りは、各定例会とも本会議第 2 日目の午後 5 時までです。また、陳情は各定例会ごとにおおむね 3 回開催される議会運営委員会の 2 日前(土・日曜日、祝日を除く)までです。

なお、提出された請願・陳情はすべて全議員にその写しを配布しています。

※請願者・陳情者の住所・氏名は一般に公開されますのであらかじめご了承ください。

議日誌

2・14	議会運営委員会	3・9	特別委員会
2・21	定例会市議会初日	3・13	都市建設常任委員会
3・2	議会運営委員会	3・14	環境厚生常任委員会
3・3	定例会市議会二日目	3・15	教育民生常任委員会
3・6	定例会市議会四日目	3・22	議会運営委員会
3・7	定例会市議会五日目	3・30	議会運営委員会
	平塚市自治基本条例	4・19	議会編纂委員会